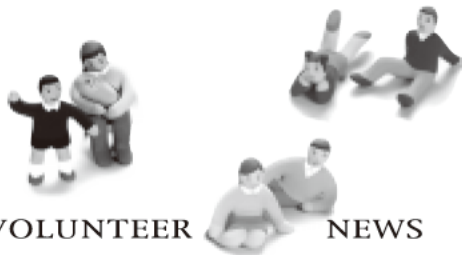


市民活動・ボランティア ニュース

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



2004年

7

月号

平成16年6月25日発行
通巻67号

みんなで考えよう 食の安全・安心!

BSEの発生や食品虚偽表示が発端となり、食に対する不安や不信感が高まっています。食に対する信頼感を高めるためには、消費者が求めているもの、事業者が食の安全確保のために取り組んでいること、行政の取り組みなどについて、お互いに知ることが必要です。県では、食の安全に関する情報やリスク管理の状況などの情報を公開し、消費者や事業者等の関係者からの意見を表明する機会をもつことにより、消費者や事業者等と双方向の対話をはかるリスクコミュニケーションをすすめています。このため、次のとおりフォーラムを開催しますのでご参加ください。

【食品衛生月間 食の安全・安心フォーラム～みんなで考えよう 食品衛生～】

- とき／8月7日(土) PM1:30～PM4:00
- ところ／津総合庁舎6階大会議室(津市桜橋3-446-34)
- 内容／食品添加物の使用基準違反や産地偽装表示、残留農薬の問題などに、消費者の皆さんの食に対する不安や不信感が高まっています。このため、食品関係事業者等の監視指導や食品検査等について、皆さんに理解を深めていただくために、フォーラムを開催します。
- ＜食の安全・安心に関するご質問・ご意見募集＞
- 食の安全・安心に関するご質問・ご意見をお寄せください。県の取組を中心に、当日フォーラムの会場で書面等により説明をします。7月22日(木)までに、下記へFaxまたはE-mailにてお送りください。
- 問い合わせ先・申込先／参加希望の方は、お名前と連絡先(住所・電話番号)を下記へご連絡ください。津地方県民局農政・普及室(担当:馬淵(まぶち)、千種(ちぐさ))
- Tel.059-223-5103 Fax.059-223-5151 E-mail tnosyo@pref.mie.jp

【フォーラム「体細胞クローン牛を考える」】

- とき／7月22日(木) PM1:00～PM4:30 (受付PM12:30～)
- ところ／三重県総合文化センター小ホール(津市一身田上津部田1234)
- 内容／県科学技術振興センターでは、平成10年度から体細胞クローン技術の開発に取り組んでいます。食の安全・安心に関心が高まるなか、クローン技術とその安全性について、消費者・生産者に理解を深めていただくとともに、ご意見を聞かせていただくため、フォーラムを開催します。
- 問い合わせ先／科学技術振興センター総合研究企画部(担当:服部)
- Tel.0593-29-3609 E-mail info@mpstpc.pref.mie.jp

アストdeプロデューサー 8 紀平早由美

前回の市民プロデューサー企画「韓流に乗ろう」は大盛況に終わることが出来ました。ご協力くださった方々ありがとうございました。さて、今回は親子で参加していただけるよう幼稚園から小学校3、4年生を対象にと考えています。昨今、子どもに関する悲惨な事件が二度と起こらないよう折らずにはいられせん。長い夏休みの一日、命の尊さをいっしょに考えませんか。ストーリーテリングや後半は布絵本の体験も企画中です。詳しくは当センターのチラシをご覧ください。

ボランティアコーディネーターってなんだ?? 13 野村希代

私が所属している社会福祉協議会(社協)という組織は、すべての市区町村、都道府県・指定都市、国にある組織で、住民主体の福祉のまちづくりをすすめていく団体です。(連載13回目にして、社協のことを説明するのは初めてです)

先日、その社協職員の全国集会に参加してきました。事例発表や分科会などが行われた研修会だったのですが、事例発表の中に、ボランティアのプログラムではありませんが、おもしろい事例がありました。

高齢化率の高い山間部の町に住む高齢者のほとんどが「何もおもしろいことがない」と言うので、何か楽しんでもらえるプログラムをつくらうと考えていたところ、一人のおばあちゃんから「プールに行きたい」という希望があり、町のマイクロバスを借りて隣のプールまで出かけて行ったという事例でした。これが実現するまでには、町との交渉や地域の住民に何かしたいことはないかと、町内を尋ねて回ったという過程があったそうです。

参加した方から評判が広まり、「社協がやることはおもしろいぞ」と、他の事業にも関わってくれる住民が増えたそうです。

地域に住む一人ひとりの声をくみ取ることは簡単なことではありませんが、何気なく話していたことの中に新たなボランティアプログラムを生み出すヒントが隠れています。今はない活動でも、「創り出すぞ!」という気持ちをいつも持っていたいです。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

◆発行◆

514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknp@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
<http://www1.mienpo.net/npot>
三重県のホームページ
<http://www.pref.mie.jp>

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)／オールウェイズ(津センターバース1階)／津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)／(有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1)／市民活動情報ネットワークすずかのぶと(鈴鹿市白子駅前18-15)／南勢町市民活動連絡協議会(南勢町五ヶ所道3917町民文化会館内)／特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)／鳥羽NPOネットワークセンター・館(鳥羽市鳥羽1-3-8)／特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市中央町1-8 東和ビル内)／四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)／寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)／ウイリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(上野市小玉町3045-1)／みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)／上野市中央公民館／上野市立図書館／上野市民ITサポートセンター(特)平成・伊賀(伊賀市LAN事務所)／上野青年会議所／名張市立図書館／名張青年会議所／皇学館大学名張キャンパス／名張市総合福祉センター／エコリゾット赤目の森(名張市上三谷268-1)／明和町市民活動サポートセンター(明和町馬場上944-5)／松阪大学(松阪市久保町1846)／松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)／名張市市民活動センター(名張市夏見2812)
【地域の社会福祉協議会】県内69の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店／三重銀行各店／東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)／三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)／三重県民サービスセンター(情報公開窓口)／三重県総合医療センター／三重県立一志病院／三重県立志摩病院／三重県立こころの医療センター／富田歴史博物館／三重県立博物館／三重県立図書館／三重県生涯学習センター／三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」／三重県人権センター／三重県身体障害者総合福祉センター／三重県環境学習情報センター／各市町村役場

みなさんへのお知らせ

市民活動ボランティアニュースへの折り込みチラシ等について

『市民活動ボランティアニュース』発行の主旨は、市民活動やボランティア活動の情報の循環を促し、市民活動・ボランティア活動の活性化をはかり、市民の意見が反映される場を提供することです。政治・宗教を除く市民活動・ボランティア活動に関する全ての記事を取り扱います。行政に対する批判的な催しなども同様に扱ってきました。折り込みチラシは、記事の締切り（毎月15日）に間に合わなかった場合などに内容をお聞きして、市民活動ボランティアニュース発行の主旨にのっとり、できる限りご希望に添える努力をしております。利用される皆様も、「みえパートナーシップ宣言」を尊重していただくことは、市民社会を支える一員として最低のルールと考えます。今後も「市民活動ボランティアニュース」へのご意見をいただきますようお願いしています。（三重県生活部NPO室）

ボランティア・市民活動団体などからの協働事業提案を募集します

- 提案事業を募集／三重県との「協働事業提案」であること。NPOからの協働事業提案は、NPOと県が協働で取り組む事業とします。テーマは自由。
- 受付期間／6月1日（金）～7月9日（金）（郵送の場合消印有効）「協働事業提案書」などを、下記へ直接、または郵送、Fax、E-mailで提出。（提案書様式は、アスト3階NPO室他、各県民局生活環境森林部にあります。なお、ホームページからもダウンロードが可能です）
- 応募資格／(1) 三重県内で活動しているNPO。NPO法人であるか否かは問いません。活動分野は特に限定しません。
- 企画の審査／NPOから提出された協働事業提案企画書と公開のプレゼンテーションにより、選考委員会が審査します。
- 問い合わせ先・提案書提出先／514-0009 津市羽所町700アスト津3階三重県生活部NPO室 Tel.059-222-5981 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp ホームページ <http://www1.mienpo.net/npot/>

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人（NPO法人）申請は6団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1) 名称 (2) 代表者氏名 (3) 法人事務所の所在地
- (1) ウィミィ(2) 出口いつ子(3) いなべ市員弁町大泉新田965番地
- (1) ういの郷クラブ(2) 櫻本博(3) 多気郡明和町大字明星2092番地18
- (1) みえ有機資源循環環境改善協議会(2) 熊沢毅(3) 鈴鹿市石桑師町109番地
- (1) 南紀会(2) 岡寄主税(3) 南牟婁郡御浜町神木2107番地の8
- (1) 安心なまちづくりの会(2) 小倉泰司(3) 北牟婁郡紀伊長島町東長島429番地の4
- (1) シルバーくす(2) 川村登(3) 三重郡楠町大字南五味塚779番地1
- (1) MMC卒後臨床研修センター(2) 足立幸彦(3) 津市江戸橋2丁目174番地三重大学医学部付属病院卒後臨床研修部
- (1) 松阪地区同和教育推進協議会(2) 和田勉(3) 松阪市東町157番地3
- (1) 岳への道(2) 花岡千代男(3) 那賀郡青山町高尾2505番地
- (1) 特別支援教育サポートセンター(2) 市川千秋(3) 鈴鹿市上野町1035番地

（平成16年5月15日～平成16年6月11日申請分）

●成立した特定非営利活動法人（登記年月日）

特定非営利活動法人伊賀救援隊（16年5月6日）／特定非営利活動法人二見せいかつ塾（16年5月11日）／特定非営利活動法人なかよし保育所（16年5月20日）／特定非営利活動法人天使の家（16年5月26日）／特定非営利活動法人もものみ会（16年6月1日）

（平成16年5月15日～平成16年6月11日届出分）

イベントスケジュール

第⑥回エコツーリズムセミナー⑩熊野

～こだわりのツアーを立てるには？～

- とき／7月4日（日）AM10:00～PM3:00
- ところ／紀南ツアーデザインセンター（熊野市木本町517-1）
- 参加費／3000円（会場費・茶菓子代含む） 要事前申込
- 内容／エコツアーのこだわり企画を立てるには？秘密のシートを

使って抜かりのない企画を計画します。このシートで企画を整理してみると一味ちがった企画立案間違いなし？！東紀州地域のみならずプログラム・プロデューサーには必見の内容です。

●申込・問い合わせ先／東紀州エコツーリズム研究会（会長：永井崇都） Tel.090-3578-7589

E-mail tour_de_kumano@yahoo.co.jp

ホームページ <http://eco-kuma.hp.infoseek.co.jp/>

アイランドのセットダンス初心者練習会

- とき／7月10、24日（土）PM1:00～PM4:00
- ところ／みえ県民交流センターイベント・情報コーナー（津市羽所町700 アスト津3階）
- 参加費／一般1000円 学生500円 要事前申込
- 内容／映画「タイタニック」の船底でのダンスシーンなどで知られるセットダンス（8人一組のフォークダンス）の練習会を開催します。
- 持ち物／底のすべりやすいヒールのあるクツ（なければ普段履いている靴でOK）、着替え用のTシャツ、タオル
- 申込方法／E-mailまたは電話。
- 申込・問い合わせ先／三重アイランド交流協会トリニティ（愛称：三重トリニティ）（事務局長：藤田みのり） Tel.059-225-5050 E-mail info@mietrinity.com ホームページ <http://mietrinity.com/>

明日の教育のために……ハートバランス研究所

- とき／7月14、28日（水）PM7:00～
- 参加費／無料
- ところ／名張商工会議所会議所アスピア
- 内容／人としての『モラル』『ルール』を、共に学び高めてゆくために、毎月2回の無料勉強会を開催しています。14日は『医療とモラル』、28日は『中世ヨーロッパにおけるギルド制度の考察』がテーマです。
- 申込・問い合わせ先／名張市平尾3068番地の12梶田ビル2階（2の2）号室 特定非営利活動法人ハートバランス研究所（担当：西川） Tel.0595-62-1717 Fax.0595-62-1719 ホームページ <http://www.heartbalance.jp>



心の問題を抱える家族とともに考える会

「ラポール」第10回研修会

- とき／7月18日（日）AM10:00～正午
- ところ／津市市民活動センター第1会議室（センターパレス2階）
- 参加費／300円（資料代・会員は無料）
- 内容／援助する人と援助される人とのよりよい関係を目指す研修会。講師は県立こころの医療センターの杉野健二さんです。
- 主催・問い合わせ先／津市南中央6-6 特定非営利活動法人ラポール Tel.&Fax.059-223-3456

川づくり会議みえ 第11回勉強会「田中川見学会」

- とき／7月18日（日）PM1:00～PM4:00
- ところ／河芸マリーナ駐車場集合 ●参加費／無料
- 内容／伊勢湾に注ぐ二級河川田中川を地域で調査活動が続けられる「田中川調査隊」の方々との見学会を開催します。
- 応募締切／7月9日（金）要事前申込
- 申込・問い合わせ先／川づくり会議みえ（担当：久世） Tel.090-5637-0727 E-mail kuze2@bronze.ocn.ne.jp

幼年美術の会三重研修セミナー～40周年記念研究会～

- とき／7月19日（祝）AM9:00～PM4:30
- ところ／三重県総合文化センター フレンテみえ
- 参加費／4000円（本、材料費含む）
- 内容／保育士、幼稚園、小学校、教育関係者、子育て中の方、地域ボランティアの皆様と共に“人間美”の追求をしましょう。
- 申込・問い合わせ先／鈴鹿市寺家3丁目2-12 幼美事務局 Tel.0593-86-0046 Fax.0593-80-0189

熊野古道文化遺産“心”の旅⑧ 映画「千年火」上映

- とき／7月25日（日）AM10:30～
- ところ／三重県総合文化センター フレンテみえ
- 参加費／当日・前売共 大人1000円 学生500円

- 内容／世界遺産登録を祝い、ビデオ鑑賞、パネルディスカッションを行うと共に、三重県出身の瀬木監督が手がけた映画「千年火」を東京、名古屋に先駆けて上映します。
- 申込・問い合わせ先／谷岡経津子 Tel.059-227-3053、059-232-1645
- 主催／三重県「文化塾」みえ県民文化祭実行委員会、三重県

子ども科学体験教室

- とき／8月1日(日)
AM10:00～PM4:00
- ところ・共催／MAPみえこどもの城
(松阪市立野町1291中部台運動公園内)
- 参加費／入場無料



- 内容／三重県科学技術振興センターでは、夏休み中の子どもたちに科学に親しんでもらおうと、研究員による楽しい「科学体験教室」を開きます。液体ちっ素の実験やガラス工房、海藻おしば作り、キーホルダ作りなどの工作、きのこやヒヨコ・にわとり、海の危険な生物、プランクトン、子牛、真珠、生ごみ堆肥、水田の昆虫など、いろんな科学の面白さを体験できます。詳しくはホームページを。
- 主催・申込・問い合わせ先／四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓研究学園都市センター内) 三重県科学技術振興センター総合研究企画部 研究企画グループ Tel.0593-29-3620 Fax.0593-29-8017 ホームページ <http://www.mpstpc.pref.mie.jp/>

JKC友好音楽会 心に響くふるさと愛の調べ

- とき・ところ／8月8日(日) PM2:00 名張市青少年センター
9月20日(祝・月) PM2:00 桑名市コミュニティプラザ
9月20日(祝・月) PM6:30 四日市市文化会館
9月26日(日) PM2:00 伊勢市観光文化会館
9月26日(日) PM6:30 三重県総合文化会館
- 内容／二胡発祥の地中東に愛の調べを!人類最古のメソポタミア文明。羊の腸を張り、馬の尻尾でこする擦弦楽器の原型が生まれ、やがて、二胡やバイオリンに進化し、今、戦乱の母国を憂い、叫ぶ!
- 問い合わせ先／皇甫 潤(ふあんぼ ゆん) Tel.090-4084-1370 Fax.059-293-5247 E-mail kouho@zvtv.ne.jp

【四日市まんなか子ども劇場から】

キッズブレイルーム

- とき／8月9日(月)・10日(火)、9月13日(月)・14日(火)・27日(月) いずれもAM10:00～正午(延長有)
- 参加費／親子で300円(1時間延長毎100円)
- 内容／親子で一緒に集う場です。

子育てサロン「カフェまんなか」

- とき／8月24日(火)、9月28日(火) ●参加費／500円
- 内容／保育あり。子ども1人500円。2人目からは半額です。

1泊2日のミニ大工体験

- とき／8月21日(土)～22日(日)
- 参加費／8200円(食事代含む)お泊まりのみは2000円
- 内容／事務所の隣にある古家をリニューアル。本職の大工さんに指導を受け、床張りをします。

- 申込・問い合わせ先／四日市市西町15-16 四日市まんなか子ども劇場 Tel.&Fax.0593-51-6670
(開局日 月～土曜AM10:00～PM5:00 水曜除く)
E-mail mannaka@m4.cty-net.ne.jp
- ※いずれも、ところは四日市まんなか子ども劇場事務所、要申込、先着順です。詳細はお問い合わせください。

NHKハートフォーラム“自閉症の理解を求めて講演会”

街の中の自閉症児・者—あなたのとなりのレインマンPart.2

- とき／8月20日(金) 開場AM9:30 講演AM10:30～
- 参加費／無料(要事前申込) ●持ち物／昼食
- ところ／三重県総合文化センター 三重県文化会館 中ホール
(津市一身田上津部田1234 Tel.059-233-1113)
- 内容／今回は、自閉症と呼ばれる人たちが、地域で生活していくために、どんな援助や手助けを必要としているのか、その特性を周囲に理解してもらいながら、支援のポイントを考えていきましょう。講師は石井クリニック院長、石井高明さんと明石洋子・徹之さんです。

- 申込方法／参加申し込み票をハガキまたはFaxで、下記まで。
- 申込・問い合わせ先／514-8531 (住所不要) NHK津放送局 NHK『ハートフォーラム』係 Tel.059-229-3012 Fax.059-229-3019 ホームページ <http://www.nhk.or.jp/tsu/> 514-0818 津市城山3丁目9-20 (社団法人)日本自閉症協会三重県支部事務局(横山美香) Tel.&Fax.059-234-9477
- 主催／NHK津放送局、NHK厚生文化事業団中部支局、日本自閉症協会三重県支部

ネットワークのよびかけ

子育てキーパーソン養成事業委託団体募集

- 四日市保健福祉部では、気軽に相談できる人が地域に多くいれば、安心して子育てができ、虐待の予防にもつながるのではと考え、子育てキーパーソン養成事業を実施しています。NPO等との協働を図るため、養成講座の企画・運営等を委託する団体を募集します。
- 委託対象事業／「子育てキーパーソン養成講座」の企画・運営など
- 講座の対象／子育て中か、子育て中の方と年齢が近い子育て経験者
- 講座回数・内容／1コース5回シリーズ(子育てに関する内容)
- 講座実施期間／契約日～平成17年1月15日
- 募集数／3コース(四日市・楠コース、菟野コース、朝日・川越コース)
- 委託金額／1コース 25万円以内
- 募集期間／6月25日(金)～7月30日(金) PM5:00
- 問い合わせ先／北勢県民局四日市保健福祉部子育て支援グループ Tel.0593-52-0585 Fax.0593-52-0598

M祭!(えむさい)2004ボランティア募集

- 8月7・8日(土・日)に開催される、M祭!2004のイベント運営のボランティアを募集します。参加はどちらか1日でも結構です。対象は高校生から一般の方まで。学生さん、大歓迎です。なお、謝礼は1日につき2000円。昼食はセンター側で用意します。
- とき／8月7・8日(土・日) AM9:00～PM6:00
- イベントによって集合時間が早くなる可能性があります。
- ところ／三重県総合文化センター ●応募締切／7月19日(祝)
- 申込方法／所定の応募用紙を郵送、Fax、E-mailにて下記まで。応募用紙はホームページからダウンロードできます。
- 問い合わせ先／514-0061 津市一身田上津部田1234番地 総務部企画広報グループ(担当:樋上・前川) Tel.059-233-1105 Fax.059-233-1106 E-mail soumu@center-mie.or.jp ホームページ <http://www.center-mie.or.jp/>

ウッドピア祭り・クラフトマーケット出店者募集

- 「木材振興のために実施するイベントウッドピア祭り」は、一本の丸太を即興で作品に仕上げる「チェーンソーパフォーマンス」のほか、物産展、カプトムシがもらえるスタンプラリーなど、イベントがもりだくさん。その一つであるクラフト品、手作りの品を販売するクラフトマーケットはブースの後ろが駐車スペースのため、設営が簡単です。
- とき／7月25日(日) AM9:30～PM4:30(小雨決行)
- ところ／ウッドピア松阪(松阪市木の郷町1番地)
- 出店料／1ブース(3.0m×7.0m) 2500円
- 応募締切／7月17日(土)
- 申込方法／住所、氏名、電話、Fax、と「7.25クラフト参加希望」と明記し、FaxまたはE-mailで申込用紙を下記まで請求。
- 申込・問い合わせ先／チャンネルM・クラフト担当
Tel.090-3385-6958 Fax.0598-22-0908
E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

ユニセフ寄金 すいれん鈴鹿

- 平成13年4月に4人の会員で発足した『すいれん鈴鹿』は、毎月一口1000円×任意の口数を出し合い、(財)日本ユニセフ協会へ送金しています。現在、会員数は18名、発足以来の累計で、(財)日本ユニセフ協会を通しての寄金は、50万円を超えました。
- すいれん鈴鹿の目的は、1.「ユニセフ」への寄金活動。2.ユニセフの情報の共有化。3.子どもに関する問題についての話し合いです。
- 毎月、第1日曜日の午後、近鉄白子駅前通り(駅西)の「すずかのぶどう情報雑貨店」で、子どもの問題について話し合いをしています。子



どもに関する情報を持ち寄り、話し合ったことを、外部へ発信していく。情報のフィードバックを繰り返すことで、少しずつ問題の核心に近づいていくことを目標にしています。ユニセフへの寄金も、子どもの問題についての話し合いも、緩やかな活動ですが、「一番大切なのは子どもの問題である」という認識を共有しながら、息の長い取り組みをめざしています。

●問い合わせ先／510-0241 鈴鹿市白子駅前18-15 NPO法人市民情報ネットワークすずかのぶどう内 Tel.&Fax.0593-87-0767

企画塾「プランナーズ」(三重県との協働事業)参加者募集

「まちづくりのできるひとづくり事業」として開催した「イベント塾」は、一過性の事業に留まらず、ノウハウを身に付けた参加者がそれぞれの想いでまちづくりを実施する良い方向性が見えてきています。16年度はそのしきみを残しつつ、企画力を高める「企画塾」を実施します。今、企業が求めるのは、企画力や開発力と言われています。内容はプランナー講座、プランナー講演会、ブレーンストーミング、企画コンペ体験、イベント実施体験など。対象年齢は15～35歳です。

●とき・ところ／8月上旬、松阪市内を予定。決定次第、希望者に通知。

●参加費／すべて無料 ●募集人数／100人(先着順)

●申込方法／住所、氏名、年齢、電話、E-mailと「プランナーズ参加希望」と明記し、郵便、Fax、E-mailのいずれかで下記まで。

●申込・問い合わせ先／515-0811 松阪市塚本町554-105号室 チャンネルM プランナーズ担当 Fax.0598-22-0908

E-mail ch-m@m5.dion.ne.jp

●主催／プランナーズ準備委員会(三重県、松阪商工会議所、チャンネルMほか)

介助 ボランティア 募集

【四日市市・伊藤智之】

私は、三重県四日市市に住む伊藤智之(19才)といいます。身体が不自由で、日常生活の大半を横になった状態で生活しています。今、外出の際や自宅で介助をしていただける方を、探しています。ボランティアといっても難しく考える必要はありません。初めは、お話し相手程度からお願いします。時間の希望は、その都度、応相談ということでよろしく願います。学生、社会人の方、どなたでも大歓迎です。自分のホームページにプロフィールを掲載していますので、そちらも参考にご覧ください。

●問い合わせ先／伊藤智之 Tel.&Fax.0593-26-1922

E-mail StairWAY1@infoseek.jp

ホームページ <http://www.cty-net.ne.jp/~stairway/etc/>

【津市・松田慎二】

「障害」が重度であり、日常生活のすべてにおいて介助を必要としています。2002年10月13日に高齢の母親が亡くなり、現在私はいろんな人たちに支えられながら、独り暮らしをしています。こうした状況の中で、私は「住み慣れた家」そして「住み慣れた町」を離れることなく、これからも地域の中で、共に暮らししていきたいと熱望しています。現在は、公的ヘルパーの介助以外(週に二日間の泊まり介助や外出の介助etc)は友人やボランティアの協力で成り立っています。しかし介助の人手はまだ必要です。あなたの空いている時間を私に貸してください。(例え一カ月に一時間でも大歓迎です!)

●問い合わせ先／津市岩田15-22 松田慎二

Tel.&Fax.059-227-1617

E-mail shinjim@par.odn.ne.jp

ホームページ <http://www.geocities.co.jp/NatureLand/9314/>

「協働コーディネーター講座ー協働の現場では?」

協働開催のNPOを募集!

特定非営利活動法人みえきた市民活動センターでは、「協働コーディネーター講座」を協働して開催していただけるNPOを募集しています。共催・後援、あるいはもっと別の形で結構です。

講座の時間は2時間半ほど。昨年、三重県NPOチームが行った「協働事業ふりかえり会議」をまとめた資料集を精読し、意見交換をします。二講開催がベストですが、一講座だけの開催でも結構です。参加費は、一講座おひとり500円。5人から15人程度を受講で開催します。また、講座終了後、具体的な現場での「協働の仕方」について提言をとりまとめ、メーリングリスト等で意見交換した後、三重県に提案する予定です。詳細についてはホームページをご覧ください。特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(担当:服部則仁)

511-0068 桑名市中央町1-8-2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail miekita@mie-kita.gr.jp

ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

助成金 ニュース

米日財団 日米相互理解プロジェクト助成

●受付締切／7月15日(木)

●助成の対象となる団体／無制限です。海外日本人、在日外国人、海外外国人も応募できます。ただし、個人や営利団体は対象外です。

●助成の対象となる活動／コミュニケーション／世論:日米両国民の相互理解のため、メディア、非営利団体、世論調査、またオピニオン・リーダーなどの各分野におけるさまざまなプロジェクトを通じ、人物、情報、アイデアを交換する機会を提供するもの。

●応募方法／直接、財団に申請してください。専用の申請用紙はありません。

●問い合わせ先／米日財団 107-0052 東京都港区赤坂1-14-2

雲南坂ビル1階 Tel.03-3586-0541 Fax.03-3586-1128

ホームページ <http://www.us-jf.org>

(財)伊藤忠記念財団 子ども文庫助成事業

●受付締切／7月17日(土)消印有効

●助成の対象となる団体／原則として、すでに数年の活動実績があり、今後も継続した活動が期待できることや、当財団の助成を受けてから5年が経過し、更に継続して顕著な活動が期待できる場合は再度応募することもできます。また、【2、子どもの本100冊助成】については、これから子ども文庫活動を始めようとする場合も応募できます。

●助成の対象となる活動／子ども文庫(家庭、地域文庫)をはじめ、その連合体(子ども文庫連絡会)など、児童の読書についての啓発・指導を行っている民間団体、または個人の活動。対象事業は「図書の購入・充実」を優先。

●助成の内容／【1、子どもの本購入費助成】30件。助成額は1件あたり20万円(定額)。図書等の購入費用を助成する。

【2、子どもの本100冊助成】1件あたり20万円相当の図書を助成。なお、セット代金が20万円に満たない場合は、その差額相当分の図書を別途購入いただけます。

a・幼児から小学校低学年向け25件／b・小学校低学年～小学校中学年向け20件／c・小学校高学年以上向け15件

●応募方法／(社)読書推進運動協議会へ「平成16年度子ども文庫助成」申請書を郵送。申請書の入手は下記申込先に問い合わせるか、(財)伊藤忠記念財団のホームページからダウンロードして使用できます。

●申込先／(社)読書推進運動協議会 162-0828 東京都新宿区袋町6番地 日本出版クラブ会館内 Tel.03-3260-3071 Fax.03-5229-1560

●問い合わせ先／(財)伊藤忠記念財団 助成事業部 子ども文庫助成担当 Tel.03-3974-2650 Fax.03-3974-2049 E-mail info@itc-zaidan.or.jp ホームページ <http://www.itc-zaidan.or.jp>

住宅生産団体連合会 住宅関連環境行動助成事業

●受付締切／7月31日(土)消印有効

●助成の対象となる団体／団体・法人、NGO、NPO及びグループを含みます。

●助成の対象となる活動／住宅に関連する環境対策の推進に資する次の4項目の活動。(1)普及・啓発の活動(2)調査研究の活動(3)ハード・ソフトの技術開発活動(4)緑化・美化活動

●助成の額／1件あたり原則として50万円。

●応募方法／申請書はホームページよりダウンロード。記入後書留で送付。

●問い合わせ先／(社)住宅生産団体連合会助成事業事務局

105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-6 晩翠軒ビル4階

Tel.03-3592-6441 Fax.03-3592-6464

ホームページ <http://www.judanren.or.jp/>

日本財団 福祉車両助成(ボランティア団体・NPO法人用)

●受付締切／7月31日(土)消印有効

●助成の対象となる団体／高齢者や障害者などの送迎・移送サービス活動を行っているボランティア団体・NPO法人

●助成の額／日本財団が指定する市販の「車いす対応車」から希望車種を1台。車両価格の90%を助成。

●応募方法／申請書は下記に問い合わせるか、ホームページからダウンロード

ドして使用。応募は郵送または宅配便にて。

●問い合わせ先／日本財団 福祉車両チーム 107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 Tel.03-6229-5163(AM9:00~PM5:00 土日・祝除く) Fax.03-6229-5169 ホームページ
<http://www.nippon-foundation.or.jp/vol/>

(財)庭野平和財団 活動助成(後期分)

- 受付期間／7月1日(木)～8月13日(金)必着
- 助成の対象となる団体・個人／個人・団体のいずれでも申請できます。(一個人、一団体に付き一件の申請に限ります)申請者の国籍、団体の場合の法人格の有無は問いませんが、持続性のあることを原則とします。
- 助成の対象となる活動／宗教的精神に基づく社会・平和活動。地域のエンパワーメントを創生する活動。
- 助成の額／1件あたり上限100万円。
- 応募方法／申請する事業の内容が「活動」であることを明記し、あわせて住所、氏名、職業(職場・研究所などまで詳しく)、電話番号を明記し、官製ハガキ、書簡、Fax、E-mailのいずれかで申請書類を請求するか、ホームページからダウンロード。申請は必ず書留にて送付し、返送用切手200円を同封。
- 問い合わせ先／(財)庭野平和財団助成係 166-0022 東京都新宿区新宿1-16-9シャンヴィラ・カテリーナ5階 Tel.03-3226-4372

Fax.03-3226-1835 E-mail info@npf.or.jp

ホームページ <http://www.npf.or.jp/>

第2回MPドリーム助成金

- 受付締切／8月15日(日)必着
- 助成の対象となる団体／三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ
- 助成の対象となる活動／(1)学習会・研修会の開催(2)調査・研究の実施(3)福祉教育・ボランティア啓発の実施(4)ボランティアグループによる先駆的・モデル的活動(5)器具・器財の購入(6)その他
- 対象事業の期間／平成17年1月1日～平成17年6月30日
- 助成の額／1グループ20万円以内。40グループ以内。
- 応募方法／申請用紙はホームページからダウンロード。応募は郵送にて。
- 問い合わせ先／三重県遊技業福祉連合会 514-0006 津市広明町328 (株)津ビル内 Tel.059-221-1677 Fax.059-227-7332
- ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyo/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター

510-0068 桑名市中央町18東和ビル2階

Tel.0594-27-2700 Fax.0594-27-2733

E-mail fanclub@mie-kita.gr.jp ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp/>

▶▶▶ 桑名市 ▶▶▶

情報のやりとりとそのツール

先日、6月12日、桑名防災支援ネットという市民活動団体が主催して、「桑名防災ボランティア交流会」を開催したところ、40人もの方達が集まってこられたそうです。「東海・東南海地震とこの地域の動き」という講演と、「私たちはどう対応すればいいか」とのフリーディスカッションが行われました。感じたのは、東南海地震への関心が高いということもありますが、それ以上に桑防さんがこれまで防災講座などで取り組んできた地道な努力の結果、これだけの方達が集まってこられたということです。特定のテーマに関心が高い人たちへの情報ルートを掘り起こし、つくりあげ、維持してきたということかとも思います。

情報ルートを確保するということはサービスの提供とセットで、とても大切な資産です。市民活動ではユーザーとサプライヤー、サポーター、スポンサー、ウォッチャー、プレイヤーなど、テーマによってひとりの人がさまざまな役割を(無意識にかもしません

が)選択しています。分野を越えたさまざまな市民活動の情報が交錯し、発信もできるコミュニケーションの場として、市民のネットワークはとても大切になってきます。最近はホームページやメーリングリストに多くの人たちがかわれるようになって、市民社会の基盤ツールが整ってきたなあと感じます。

この地域でも、たくさんの人たちの手によってそのような場が無数に提供されているのだと思います。その中で(特)みえきた市民活動センターが毎月一回3000部ほども発行している「まちのかかわり版」が一年を迎えました。紙で発行されているこの情報誌も、最初はB5版で4ページだったのが今では16ページにもなっていて、情報量も増えました。桑名地域で100カ所以上ものところに置いてもらっているとのこと、多くの人たちの厚意に支えられ、認められて、今があるのだと思います。一年分をまとめてみると、これからこの地域の市民活動のデータベースにもなっていくのかなとも思えてきます。これらのバックナンバーはみえきた市民活動センターのホームページに掲載されていますのでよければ一度みてみてくださいね。

▶▶▶ 四日市市 ▶▶▶

特定非営利活動法人 地域づくり工房 みなと

Tel.0593-33-8675 Fax.0593-50-0203

E-mail kobominato@yahoo.co.jp

市民活動活性化モデル事業「市民ベンチャー事業」を受託して(その2) NPOコムレスネット代表 海山裕之

金融機関からの融資を断られたことで、我々は結局、スタッフや親しい間柄の人たちからの支援を仰ぐことになり、つなぎ資金の金策には苦労することになるのですが、今回の事業は委託事業というものの、実質的にはNPOへの助成に近いもので、我々にとって、この事業に採択されたことは非常に幸運であったことは間違いありません。

事業の採択決定が、ワンデイシェフ・システムの実践をスタートして1年半が過ぎていた時点で、ある程度システムのかたちが出来上がってきてはいたものの、他地域への展開、すなわちシステムの導入支援ノウハウのマニュアル化まではとても手が出せないというのが実情でしたから、この事業の受託によってその段階へ進むための弾みがついたといえるでしょう。

しかしながら、ワンデイシェフ・システムの事業化を手がけてみて、このようなことは誰もがそう簡単にできることではないというのが現在の率直な感想です。ビジネス的なアプローチでもって、公益的なサービスを事業としてかたちにするNPOビジネス(コミュニティビジネス)は、そもそも、妥当な利益が見込めないなどという理由から、企業が敢えて手をつけない分野に挑戦するようなケースが多く、セオリーどおりに事業を構築していてもなかなか収益構造を生み出すまでには至りません。

事業化するには、アイデアをひとひねりもふたひねりもする必要があるだけでなく、十分な資金投入が出来ないまま、運動性の強い、団体としての草創期というプロセスを経るため、事業としての成果を得るまでに普通以上に時間を要する場合があります。つまり、このようなビジネスを成功させることが予想以上に難しいのは、個人の能力の問題というよりも、中心になる人間に結果が得られるまでの間、経済的にも精神的にも持ちこたえるだけの状況が準備されているかどうかということが問題になっているということです。

このような状況では、志を持った多くの人材が、道半ばにして夢を手放してしまうような事態も十分想定されます。これは社会全体にとって大きな損失であると云わざるをえません。NPOが事業として自立しやすい環境を整えていくためには、NPOに対する市民意識の向上とともに社会全体としての支援体制の確立が急がれます。

NPOの事業をビジネスとして捉えた場合、設備投資や運転資金は事業遂行に必要な不可欠な経費ですから、特に資金面におけるサポートについては、非営利セクターに資金が流れるための社会的な仕組みづくりと、その受け皿となる中間支援組織の整備が急務であると痛感させられた今回の事業受託でありました。

■メイキング・オブ・伊勢市民活動センター

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
http://www.po-npo-n.com

伊勢市駅から歩いて5分・外宮前

ついに!

いせ市民活動センターOPEN!

7月1日(木)

いせ市民活動センターが、
14ヶ月の準備期間を経て、
7月1日より、指定管理者
「特定非営利活動法人いせ
コンビニネット」による民
間管理運営が
スタートします。
ぜひ一度、
足をお運び
下さい!

利用

稼働率の
向上

お問い合わせ/
tel0596-20-4386

利益

センター機能の
充実

サービスの向上

市民活動の
活性化

市民活動センターが認知され
多くの人に利用されることで、
どんどん機能が上がります!

「いせ市民活動センター」オープニング記念行事&愛称募集!!

市の主催でオープニング記念行事、指定管理者の主催でオープニング記念パーティーを行います。
また当日、参加された方の投票により、センターの愛称の選定が行われます

日時 平成16年7月3日(土) 午後6時30分
場所 いせ市民活動センター北館 1階ホール(伊勢市岩渕1丁目2番29号 旧伊勢シティープラザ)
内容 午後6時30分~午後7時 オープニング記念行事
午後7時~午後8時30分 会費制(1,000円 軽食つき)でのオープニング記念パーティー

誰でも
参加
できます

W.T.Aまちづくりセンター通信

〒516-0866 上野市小玉町3045-1
tel:0595-24-2612 090-3302-0627
fax:0595-22-0072 代表:中野 正
E-MAIL: nagai4343@eweb.ne.jp



おはよう会議へ
2 2月21日(土) 18:30~
上野市役所内 2階会議室

おはよう会議へ
2 2月21日(土) 18:30~
上野市役所内 2階会議室

9月14日(日) 17:00~(7月)
出店者大募集!!

当センター2号館「結い(旧国鉄
貨車ワゴン3003号)」周辺をリマ
シする。結いには南側の、北側の外
も、イロイロあり。希望者はあ
あわせ下さい!! 1ブース 300円。

毎月1日(土)の大会で「結い」の
場所の指定もあつて足元を運んで下さい!!

これにちか② 1年も半分が過ぎました。おはよう
いなかおはようですか? うちでは どうぞいこうなり
小玉町へ来てきて1年が経つ。たどと 会話をあ
ました。ホント、毎日が いろいろとこの連続でおは
よう 楽しくていそがしい...という事が 本音であ
知って かなりの幸せ者です!!

4月1日(土) コンサートのお知らせ 伊勢市
7月4日(日) 18:30 南3号館(18:00 南1号館)
二見の囃子会(大仏内)
入場料... 一般 3000円(当日3500円) ☆
16歳以下 1500円
C.T.界の女王 ミネハハの歌を 楽しんで下さい!!
※ コンサートの収益金は 福祉財団に寄付
4月1日 取組店・伊勢 33番店(伊勢市駅前)
・おにぎり 朝日軒(伊勢市)
・二見 伊勢のうた
⑤ スローライフ ミネハハ (tel:0596-43-4311)
090-7034-4424
・33番店 090-6804-8354

生誕360年 世襲エリザベス 和歌山に 伊勢の産物
2004 伊勢の産物委員会 事務局 伊勢市役所 2階
C.T.界の女王 ミネハハ http://www.iga2004.jp E 34
下り

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。南勢町に移り住み、日本全国へ「ふるさと」を送り届ける五ヶ所湾ふるさとの会に参加している伊勢直世さんがバトンを渡したのは、三雲町市場庄で地元の歴史を語り継いでいる中村文恵さんです。

フツの主婦が始めた市民活動

……中村さんが活動を始めたきっかけは？

地元の婦人会活動ぐらいで、特にボランティアや市民活動はしていなかった私が、三雲町市場庄の歴史を語り継ぐ活動を始めたきっかけは、平成11年に松阪県民局が主催した歴史街道についてのワークショップに参加したことでした。その後、7月にワークショップの報告会があり、当時、県民局の担当者だった内藤さんに「三雲町でも、市民グループの活動を始めなくちゃ。ここに集まったのは良いチャンスだから、グループをつくってはどうか？」と声をかけられました。でもその時は、一緒に参加していた岩崎さん、専田さんと「何かしなくちゃね……」と話す程度でした。

……行動に移そうと思ったのは？

その翌月にあいの会「松坂」の代表である田畑美穂さんに出会ったのが大きいです。友だちに「松坂城下を語り部の話を聞きながら歩く会がある」と誘われて参加したのですが、その時、田畑先生に「歴史の話を聞きながら町を見ると、こんなに違って見えるんですね」と話したところ、「興味があるのなら、私が歴史を教えてあげるから、自分でも語り部をやってみては？」と言ってくださって。その時に、この活動なら、私が住む三雲町市場庄・松阪市六軒地域で行う市民グループ活動にぴったりだと思い、岩崎さん、専田さんに声をかけました。

……三雲町市場庄・松阪市六軒地域はどんな所なのですか？

お伊勢参りの道筋、伊勢街道沿いになり、妻入り格子戸の民家が多く残っています。妻入りとは、道路に向かい屋根が、本を伏せたように見える様式です。この建築様式自体、全国的に見ても少ないのですが、それが固まって残っているのは珍しいんです。

……最初に行った活動は？

田畑先生の「川と道の町を語るゼミ」を6回シリーズで始めました。毎回、お話がおもしろくて、少ない時でも20人以上の方に参加していただきました。あまり好評なので、最終的には10回に延びましたよ。この企画のチラシをつくる時に、主催者の名前が必要ということになって、格子戸の会という名前をつけ、今にいたっています。

……最初は何もわからなかったでしょう？

婦人会活動を見てくれていた方が教育委員会にいましたので、チラシの原案を持っていき、教えてもらったほか、チラシの配布にもご協力いただきました。会場は市場庄地区の区長さんが「地元の歴史を知ろうとしているのだから、無料でどうぞ」と公会堂を貸してくださいましたし、いろいろな人に助けってもらって、開催にこぎつけた感じです。

ね。この他、会の立ち上げと同時期に参加していた県主催の男女共同参画セミナーで、ご指導いただいた三重大学の東先生・浅野先生にも、いろいろアドバイスをいただいたうえに、今は浅野研究室の学生さんにもお手伝いいただいています。

……格子戸の会のテーマは歴史を勉強することですか？

町のことを語り伝える語り部を目指しています。語り部と言っても、観光客相手より、自分たちの子どもや孫に町のことを伝えたいというのが願いです。この地域には町並みの保存条例が無いんです。私たちの力だけでは町並み保存は難しいけれど、語り伝えることだけはできるだろうと勉強しています。

……高齢の方が孫に語り継いだりはしないのですか？

今、住んでいる町の歴史は、他から嫁いできたものは知りません。昔から住んでいる方も多いけれど、最近が高齢者の方もお忙しいでしょう？お母さんが語り継ぐのが一番良いんですけど、そのためには勉強が必要なんです。

……中村さんはよそから嫁がれてきたのですか？

私は長野県岡谷市出身です。初めて市場庄を訪れた時は「タイムスリップしてきたような町並みだ」と感動しました。ただ、その時は自分がこの町を守ろうとまでは思いませんでしたけど。

……地元で生まれ育った人よりも、関心は高いかもしれませんね。地元の人には「この町のどこがいの？」っておっしゃいますね。よく外国に行くと言いますが、よく見ると言いますが、いろんな土地を知って、新たな目で見直してみた方が、良いところが見えてくるのかもしれない。ずっと中にいると悪い所に目がいくように思います。

活動拠点 いちのや

……三雲町市場庄にある妻入り民家を「いちのや」と名付けて、活動拠点として利用しているそうですね。

この家は宇野家の別宅として大正3年に建てられたものです。平成12年の6月頃に、本宅の方の小屋を壊されるという話を聞いて、壊す前に見学させてもらえるよう、お願いしました。今は本宅の方は改築されたのですが、その前は大きな妻入り民家に小屋や蔵を含めた4棟が連なった素晴らしいお宅だったんです。見学の時のお話のついでに、私がこの別宅についていろいろ質問したんです。そうしたら「今のところ何かする予定もないから、貸してあげてもいいですよ」と申し出ていただきました。

……格子戸の会で借りているのですか？

見学と一緒にいった郷土史家の方に「個人で借りるのは大変だし、持ち主の方も不安だろうから、町に間に入ってもらったら？」とアドバイスいただき、その結果、建物を三雲町教育委員会が10年間無償で借り受けることになりました。格子戸の会は教育委員会から維持管理の委託を受けています。

……ずっと誰も住んでいなかったのですか？

三十数年、空き家になっていたのが幸いして、カマドや土間など建てた当時のまま今でも残っているんですよ。この地区にはこの家よりも古い家がいくつもあります。人が住んでいると、台所などはどうしても使い良いように改造していきますから。

……お掃除も大変だったでしょう？

最初に掃除に入った時は、まだ電気も通っていなかったので人海戦術



格子戸の会

中村文恵

さんに

聞く

で頑張りました(笑)。床のホコリだけで5センチ近い厚みがありましたね。それをチリトリですくいた上に、濡れた新聞紙を置いて、包むように取りました。柱や床は一つひとつ磨き上げました。

私たちの力だけでは町並み保存は難しいけれど、語り伝えることだけ是可以

……参加者は?

20人ぐらいです。格子戸の会は松阪県民局の生活創造圏づくりの街道部会に参加しているので、そのメンバーである松阪市の本町まちづくり会の方など、市民活動をしている方々や県民局の方も応援に来てくれました。

……修理などもしたのですか?

井戸のある水屋の屋根が半分、落ちかけていたのを三雲町から修理してもらったほか、畳の入れ替えと電気水道も引いてもらいました。本当はトイレも水洗にしたかったのですが、予算の都合で簡易トイレを備え付けてもらいました。その後、雨漏りがひどくなってきたので、そちらは皆でお金を出し合い、応急処置をしました。

……いちのやではどのような活動をしているのですか?

毎週日曜日に開館して、休憩所として利用してもらっています。町並み案内も依頼されれば、説明できる人が一緒に歩きますよ。あと、地元の人に会議や集会などにも使ってもらっています。

……毎週日曜、中村さんがここにいるのですか?

月に1度行っている格子戸の会の例会で、日曜日の当番を決めています。メンバーは実質20人程度ですが、ほとんどの方が他の市民グループにも参加しているので、当番を決めるのも案外大変ですよ。

……人を集めるためにイベントなどは行っていますか?

「いちのや講座」と銘打って、いろいろな活動をしてきました。一番、大規模だったのはチャリティーのふれあい寄席。上方落語機構の方が6人、大阪から歩いて伊勢参りに行く道中、ここに立ち寄りてくれました。歴史講座はもちろんですが、書道展・絵画展なども行っています。講座の中で好評を得て、年数回開催するのは柿渋講座。カゴに和紙を貼り、その上に柿渋を塗る一貫張りという手法の他、柿渋で古い蚊帳などを染色しています。あと、定着したイベントには「歌う会」があります。カラオケのように一人ひとりが歌うのではなく、童謡など懐かしい歌をみんなで声を合わせて歌う集まりです。次は夏に行うのですが、それは地元の老人会とタイアップするんですよ。

……その他の活動は?

大きな成果だと思うのは、昔から使われている屋号を書いた木の看板をそれぞれの家に取り付けさせてもらったことです。それと平成15年につくった屋号の残る『格子戸街道』絵地図です。オールカラーで、市場庄に残る妻入りの民家や、屋号などを掲載しました。「かご大」や「合羽屋」など、名前だけで、どんな商売だったかわかるでしょう?あと、このおかげで最近、小学生たちも興味を持ってくれているようですし、屋号で呼ぶ人が増えたようです。それにこの前、消防署からも電話があったんですよ。「屋号で通報があった時のために、絵地図をください」って。そこまで浸透したんだって嬉しかったですね。あと、町が建てた看板にも屋号が入るようになりました。

……昔の屋号を調べるのは大変だったでしょう?



いちのやと『格子戸街道』絵地図。



高齢の方たちは屋号で呼び合っているの、ある程度はわかっていました。でも、看板をつくるにあたって1軒、1軒、確かめに行きましたよ。中には、昔の資料を出してきて、屋号の由来を教えてくださいました。私たちが調べた資料を基に絵地図には簡単にまとめました。

……いちのやという名前も、昔使われていた屋号ですか?

これは私たちが名称を募集してつけた屋号です。市場庄の民家という意味と、ここがまちづくりの一番目の家となり、二番目、三番目と続いてくれるようにという願いを込めてつけました。

……他の町から来る人を増やそうとは思っていないのですか?

地元の人が優先ですが、もちろん来ていただきたいです。全国町並み保存連盟の方などにも見学に来てもらいまし、昨年は街道ウォークも2回行いました。よそから来た人が言う「良い町だね」という声を、地元の人が聞いて、保存することを考えてもらえないかという秘かな期待は持っています。

……格子戸など外観だけでも残せばいいですね。

この辺りの格子戸はお盆とお正月の前、それにお客さんが来る前などには必ず磨くのですがこれが大仕事。特に冬は風も強く寒くて、雑巾拭きは大きな負担です。それもあってか格子戸が減ってきたようです。格子をよく見てもうとわかりますが、長い間磨いてきたため、棧の角が丸く削れています。昔は「丁寧に雑巾で磨きなさい。洗剤も使っちゃダメ」と言われながら、お嫁さんが掃除したそうですよ。

……話を伺うだけで、大変さが伝わりますね。

掃除を少しでも手伝うことで、格子戸を残してもらおうという活動も考えています。名前は「格子戸お掃除隊」。活動はまだまだですが……

……町内でも、格子戸の会やいちのやが認識されてきたのでは?

「格子戸の会」の活動を始めて5年、「いちのや」がオープンして3年。「いちのや」という存在は認められてきたように思います。今年は市場庄からも補助金をいただきました。

……今後はどんな活動を考えていますか?

町並み保存の先進地見学にも出かけていますし、勉強もしていきたいですね。私たちが語り部ボランティアとして、地域の歴史を語り伝えていくことが、まちづくりに繋がれば……と思っています。あと、いちのやは教育委員会が借りている建物ですので、より多くの町民の方に利用してもらえるようにしていかなければいけないと思っています。

……具体的な案はありますか?

古い日本の暮らしを感じる「いよしの空間」として活用したいです。いちのやでお茶を飲んだりおしゃべりをしたり気軽に町民はじめいろいろな方が交流できる場になればいいなと思っています。個人的には、いちのやの裏にある小屋を青少年の居場所になんかとも思っています。大工さんに入ってもらって、建て直す必要があるのですが、そのお手伝いから子どもたちと一緒にできたらいいなって。青少年活動を行っているグループとタイアップできるといいんですけどね。ただ、格子戸の会のみんなに話したら反対されるかも。「まだ活動の幅を広げる気なの!」って(笑)。

格子戸の会

住所/一志郡三雲町市場庄483-1

Tel.&Fax.0598-56-2493

中村文恵さんはこの人を紹介します。

高島信彦さん

松阪市の「本町まちづくりの会」を立ち上げ、現在は市民活動のネットワークをつくり、松阪市と協働してまちづくりを行っています。

都合により、今回のインタビュー対象が中村文恵さんに変更となりました。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpa@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。